レジメンと主な副作用の指導内容

☆治療スケジュール（D-VMP療法　サイクル10～）

1サイクルを4週間毎に繰り返します。

薬品名	用量	効能	日付 / 用法／曜日																												
レナデックス	mg （ 錠）	副腎皮質 ステロイド剤	内服	○																											
アセトアミノフェン レスタミン錠	650 mg 5 錠	ダラキューロの注 射時反応予防	内服 (ダラキューロ 投与１～3時間前)	○																											
ダラキューロ	【1800㎎】 mg	抗がん剤	皮下注	○																											

☆副作用について

- **腫瘍崩壊症候群（当日～）**
  急激な細胞の崩壊により腎障害などをきたすことがあります。

- **注射時反応（ダラキューロ投与後～）**
  投与後に鼻づまり・鼻水、のどの痛み、咳、息苦しさ、発熱、悪寒、
  かゆみ、発疹、虚脱感などが発現することがあります。
  予防のために、ステロイド剤・解熱鎮痛剤・抗ヒスタミン剤を点滴・内服します。

- **眠気、ふらつき　（点滴中～）**
  レスタミン錠の影響により症状が現れる場合があります。
  点滴当日は、運転や危険を伴う行動は避けてください。

- **便秘（当日～）**

- **不眠**

- **骨髄抑制**
  白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。
  →白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けてください。
  　値によっては増やす薬を使用することがあります。
  →赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。
  　赤血球・血小板減少時は輸血が必要になることもあります。

☆現れる副作用は個人差があります。上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。
☆抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。
☆特に点滴のある日は、無理のない程度に水分の摂取を心掛けてください。
☆血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。

大阪赤十字病院　薬剤部